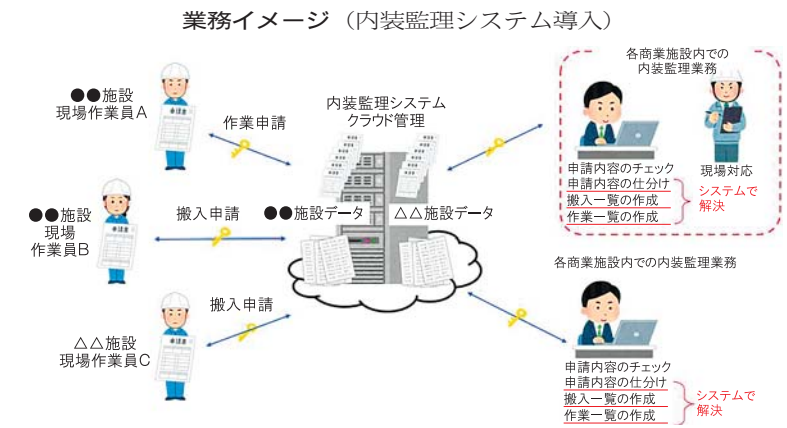


内装監理をデジタル化

書類整理の時間削減

スペース

スペース（東京都中央区、佐々木靖浩社長）は、内装監理業務の効率化を目的に情報一元管理システムを開発した。建設現場での作業届や搬入届など、これまで紙ベース



で行われてきた各種申請書をデジタル化できる点が特長となる。申請内容をクラウドで一元的に管理することで、関係者間の円滑な情報共有と、業務の生産性アップに役立つ。三井不動産から受託した「三井ショッピングセンターららぽーと堺」の内装監理に適用した結果、作業届や搬入届、書類整理に要する時間が従来との比較で約7割も削減できた。ペーパーレス化が進むことで紙の印刷・保管に要するコストの削減や環境負荷の低減にも貢献できる利点がある。

内装監理は、事業主（デベロッパー）の代行として、ゼネコンやテナン

ト関係者の間に入って、商業施設の計画からオープンまでテナント出店者の設計・施工を総合的に監理していく「コーディネート業務を指す。大量の申請書類の整理など、紙ベースでの業務が非効率の原因となっていたことから、それらをデジタル化できる独自の「内装監理システム」を構築した。2023年以降に製品化して、デベロッパーを中心とした関連会社へのサービス提供を目指す。

